届出の際は最新の様式を使用すること (平成31年1月1日より新様式)

土木工事等の記入例 ※新築工事の場合

別表3

(A4)

	新様式										は新	築工事	等(土木工事等	爭)	
Ī					一分別解体等の計画等 解体工事のみ口にチェックすること 鉄筋コンクリート造 □その他()										
		工事の	ば	□電気		直 □ス	·修繕工事 jス □下水 事)			話					
	使用する特定建設資材の種類 凶コン				クリート	□コン	ァ/ クリート及び リート 女 木	鉄から成材	える建設資	質材	∫ 解体	工事のみの	り場合はチェック不	要	
			工作物の 状況	公 / 工 米	女				新築	新築工事の場合は空欄で可					
	する	F物に関 5調査の 結果	周辺状況		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				学校	校) 周辺にある施設の該当する口に全するの他欄には具体的にその状況を記					
ŀ		作物に			工作物	員 ,約 <u>12</u> m				工事着手前に実施する措置の内容 ・道路使用許可済					
	調査	引する 至の結果 及び	作業場 所	作業場その他					•道路						
	に実	手着手前 尾施する 畳の内容	搬出経路	前面違	カ □有(直路の幅∫ 各 □有				·交通	・交通整理員の常駐				工始	(アスベスト)
様替 み該	工事の 当する	修繕・模 0場合の 5口に ること	石綿 (解体・維持・修繕工事 のみ)			▼ /::: 両通行可能			□ 飛制	性石綿の道 数性石綿の	に関する諸官庁届出(大防法、労安衛法・石綿予防規) の適正処理の実施 綿の適正処理の実施			が特定が特別が	用されており、 建設資材に <u>している場合</u> する□に
				□無	その他	資材以 □ 飛散性 有する	外のものに吹付けられ 社石綿【吹付けではなり 新熱材、保温材、・耐力 女性石綿(スレートボー	ルた石綿) い】(石綿を含 火被覆材等)	(含) □ 飛散性		窗正処理(の実施	F届出(大防法、労安衛法・石綿予防規 関施 の実施(※事前措置が必要な場合)		ックする
			その他 付着物 有害物質等	□有			は石綿(アスベス ハて□にチェック		寸着物有害物	物質等の			ベスト)が使用され <u>ていない場合</u> 、該当		
	工程	工程			作業内容					分別解体等の方法 (<u>解体工事のみ</u>)-					
	2	①仮設			仮設工事 ▼有 □無				□ 手作業□ 手作業・機械作業の併用						
	1 F	②土工			土工事 又有 口無				■ 手作業■ 手作業・機械作業の併						
	業内容	3基礎	(5)	本体付属品とは、			基礎工事 □有 ▽ 無本体構造の工事 ▽ 有 □無			ĺ		□ 手作業			体工事のみ
	及び	④本体構	、照明設備 どをいう		本体材						にチェック ること 				
	体	5本体付	(他があるり	是合は	本体付属品の工事 □有 🗸						手作業 手作業・機	械作業の併用┃		
	方(⑥その他 (具体的	に記入する		その他の工事 □有 ☑無				ļ		〕 手作業 〕 手作業・機械作業の併用 ■			
	工事の工程の順序 (解体工事のみ) 工作物に用いられた建設資材の量					□上の工程における⑤→④→⑥ □その他(その他の場合の理由((4)→(3) 0,)順序)	解体工事の場合 記入する場合は 全ての資材の重	、特定建 量を記載	設資材に限らす
ļ	rate: A	の見	込み(解体工	事のみ)			トン	/			<i>I</i>	1 - 7 7 7	(数量は整数表		Γ
	廃 特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見 棄 込み(全工事)並びに特定建設資材が使用 される工作物の部分(新築・維持・修繕工 事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生 が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・ 生 見 込						種類 クリート塊		量の見込		れる □(Î	部分(注	分又は発生が <u>。</u> ○ ③ ▼ ④	見込ま	
							ファルト・コンクリー	小塊		1トン)	□3 V 4		
	量	(注) ①仮割	主) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④2							1トン					
	備考		考として記載				O C % IE					資材廃棄物 量ではあり	の発生量を記入す)ません	る(数量は	な は整数表示)